



# 寒さを吹き飛ばす 源泉湯かけ合戦

## 第40回登別温泉湯まつり

2/3・4

2月3日(木)と4日(金)の2日間、登別温泉とカルルス温泉で『第40回登別温泉湯まつり』(市、登別観光協会主催)が行われました。

この催しは、登別温泉の豊富な湯量と優れた泉質に感謝し、開運と無病息災を願う祭りとして、節分に合わせて毎年開催されています。

閻魔大王の使者である赤鬼と青鬼の『湯鬼神』が、郷土芸能『湯鬼神かぐら』を披露して厄払いをしながら、旅館やホテル、飲食店などを回って市民や観光客などを喜ばせました。

4日夜には、源泉公園を会場に、祭りを締めくくる『源泉湯かけ合戦』が行われ、氷点下の寒さの中、紅白に分かれた下帯姿の男性とさらし姿の女性計80人が豪快に湯をかけ合い、見物に集まった約600人の市民や観光客とともに、今年一年の開運と無病息災を願っていました。



▲『ちゃんこうどん』を味わう参加者

# 給食の歴史を知り 今を味わおう

1/24~27

『のぼりべつしがっこうきゅうしよくてん』が1月24日(月)~27日(木)、市民会館で『のぼりべつしがっこうきゅうしよくてん』(市主催)が開催され、給食の歴史を紹介するパネルや食材の展示、手洗い指導や学校給食の試食などが行われました。

25日(火)に行われた試食会では、参加者は試食の前に、栄養教諭から学校での食育指導や献立作りの留意点について、また、麺を納入する業者の方から、うどんが出来るまでの工程について説明を聞き、その後、『ちゃんこうどん』や『おからドーナツ』などの給食を味わい、学校給食への理解を深めていました。